



子育て支援センターだより

子育て支援センター ☎52 2315

10月22日、保健福祉センターにて第33回幾寅保育所お遊戯会が行われ、保育所に入所している子ども達とともに支援センターを利用している親子の皆さんも出演しました。

お遊戯会に出ると決まっただけからは、にこにこ学級や親子遊びの広場、育児サークルといった親子が集まる時には、出し物の練習をして、回を重ねるごとにだんだんノリも良くなっていき、お母さん方からも出し物の手遊びを気に入って「お家でもしていますよ～」とうれしい声も聞かれました。

いよいよ本番当日。出る前にみんなで集まり写真撮影をしてからいざ舞台へ・・・みんな緊張した様子でしたが泣く子もいなく、お母さんと舞台上で手遊びや親子遊びをしました。スタッフも一緒に舞台上に立ちましたが、はじめて舞台上に立つ親子の皆さんの方が立派にやりこなしていたのには、びっくりしました。堂々とした親子の姿を見て私たちスタッフはとても感動しました。出ていただいた親子の皆さん、練習につきあってくれた親子の皆さん、本当にありがとうございました。親子の皆さんから勇気と感動をいただきました。

保育所に入所するまでは、お遊戯会のように人前に出て何かをするという経験は滅多にないことですね。今回の経験は、子ども達にとってとても貴重な経験をしたと思います。自信・感動・達成感・緊張・舞台からみた世界。子ども達の感じ方は十人十色です。貴重な経験がトラウマになり人前に出ると大泣きしてしまい嫌がる子もいたり全く正反対で「もっと出たい、やってみたい」という子もいます。どちらにしても舞台上に一緒に立ったお母さん方は、お子さんと自信・感動・緊張などの気持ちを共感し「泣いたけど頑張ったね」「上手にできたね」「お母さんも緊張しちゃった！」と声をかけることで子どもは、僕だけじゃないんだ・・・お母さんも緊張したんだ・・・と同じ気持ちだった事がわかり安心感をもち、次に人前に出る機会があったら前の経験が役に立つと思います。上手にできなかったからといって、子どもに「どうしてしなかったの？」と聞いたり、叱るのはタブーです。「いっぱい人がいたからびっくりしたでしょう」と子どもの気持ちを表現し、舞台上に立っただけでもすごいよ！と後のフォローが大事ですので「どうしてうちの子はしないんだろう・・・」と悲観的な気持ちを持たずに、どうか暖かい目とやさしい気持ちで子どもの事を見守り、お子さんと色々な経験をして気持ちを共感してください。

保育所の元気な子ども達

10月15日に金山保育所、10月22日は幾寅保育所のお遊戯会でした。子ども達は約1ヵ月間程、歌や楽器、お遊戯や舞踊劇を練習してきました。本番ということで、お父さん、お母さん、おじいちゃん、おばあちゃん、大勢のお客さんの前で緊張している子もいましたが、元気に踊ったり、歌ったり、可愛い姿を披露してくれました。

幾寅保育所



金山保育所

